

閉伊川水門・鍬ヶ崎防潮堤 現場見学会を開催しました



沿岸広域振興局土木部 宮古土木センター

東日本大震災津波により甚大な被害を受けた宮古市閉伊川河口部では、現在、津波防御施設として水門や防潮堤の整備を進めています。

地域の皆様に工事内容や進捗状況について理解を深めていただくため、10月25日に現場見学会を開催しました。



当日は、天候にも恵まれ多くの方々に参加いただきました。昨年の台風10号以降、現場見学会の開催を見送っていましたが、この間の着実な工事進捗について説明させていただきました。工事の早期完成を望む声も多数あり、事業への関心の高さを実感しました。



水門現場事務所



防潮堤工事の現場

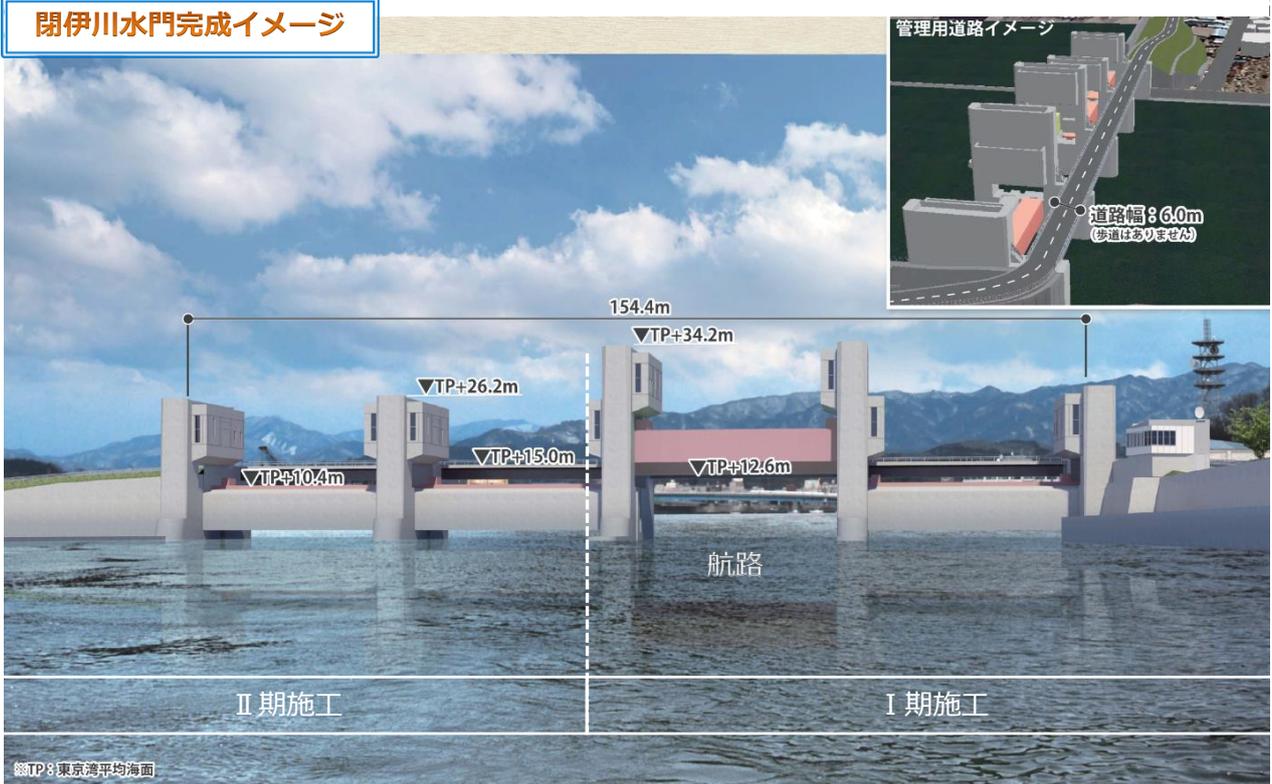
鎌ヶ崎防潮堤（避難橋）完成イメージ



鎌ヶ崎地区については、道の駅に指定されている「シートピアなあと」や「宮古市魚市場」など多くの人が集まる施設があります。このことから、非常時には速やかに宮古市指定の避難場所に避難出来るよう避難橋の整備を行います。

今後も、様々な場で情報発信を行い、防潮堤事業に対し理解を深めていただくよう努めて行きます。

閉伊川水門完成イメージ



現在、水門本体の基礎杭を施工しており、I期施工では約700本の杭を打設します。今年度中に杭の施工が完了し、来年度からは水門本体のコンクリートの打設が始まる予定です。

今後も、工事の進捗状況を踏まえ現場見学会を開催していく予定です。

なお、現場見学は随時可能ですので、希望される場合はお気軽にお問い合わせください。

【復興まちづくり課 0193-65-0032 (内 393)】

